



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高槻赤十字病院

《第65号》 平成27年9月発行
発行元 高槻赤十字病院 地域医療連携課

地域医療連携だより

秋の気配が次第に濃くなり、皆様にはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。
今回は、「患者支援センター」開設から1年が経過した今、感じている変化をご報告いたします。

～「患者支援センターに行けば何とかなる！」を目指して～

当院では、患者さまへのサービス向上を目指して、様々な試みをしております。

その目玉として、昨年の「患者支援センター設立」があります。

これは、従来の受付窓口が「入院受付」「福祉相談」「地域連携」ごとに別の場所に分かれておりましたので、患者さまに何度も足を運んでいただくというお手間を取らせてしまったことへの対策の一つです。

「患者支援センター」に来ていただければ、患者さまからのご要望に応えられるケースが増えてまいりました。

また、受付窓口エリアの無駄を省き、スペースを大きく取ることで混雑の緩和にも寄与できたと考えております。

その他にも、入院患者さんの待機場所を広げることで座席に余裕を設けたり、入院に関する冊子の刷新など多岐に渡り改善をしております。

ただ、患者さんや開業医の先生方への周知がまだまだ行き届いておらず、さらなる広報が必要と考えております。

今後に対応すべき部分多々あると思いますが、順次対応してまいりますので、お気づきの点などございましたら、ぜひお教えてください。



地域医療連携強化への取組み その④

～大腸カメラのオープン検査を始めます～

地域医療連携強化のための工夫点、患者様に安心を・登録医の皆様にご信頼をしていただくための改善点など、院内の取組みを可視化するコーナーです。



大腸カメラのオープン検査を始めます。
近日中に別途、ご案内いたします。
ぜひ、ご利用ください。

